

# 離床センサー 現場レポート！

VOL.12  
May.2010

「離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します！」

東京都・日野市立病院様

ご使用機種：ベッドコール・コードレス (BC-R)

3つのポイント徹底で、患者様の「センサーを避ける」「スイッチを切る」行動を防止している、日野市立病院様の工夫をご紹介します！

## ポイント

- ①シーツの下に敷き「見えないセンサー」であるベッドコールの特長を生かし、センサーが患者様に見えないようにする。
- ②センサーを使用している患者様のナースコールが鳴っても、ナースコールには応じず、直接病室へ向かう。
- ③現場スタッフ全員でセンサーを使用している患者様を把握する。



## 効果

導入時からポイント3点を徹底することにより、患者様がセンサーを避けたり、スイッチを切ってしまうということが1件も起きていないそうです。

せっかく導入したセンサーも、患者様が避けてしまっただけでは意味がありませんよね。日野市立病院様の工夫はささいなことのようにですが、徹底することで初めて効果が現れるのではないのでしょうか。



### アセスメントスコアシートで意識向上！

現場で患者様の情報を共有し、看護計画を立て、事故を防ぐために多くの病院様で付けられているアセスメントスコアシート。日野市立病院様では平成16年にスコアシートを導入し、入院時や状態が変わった時、また、1週間ごとなどとタイミングを決めて付けていたそうですが、平成20年から毎日付けることにされたそうです。毎日のスコアとなると業務量は増えますし、大変なことです。しかし最近では事故に対する意識も高まったと判断したリスクマネージャーが「頻度を減らしても良いのでは」と提案したそうなのですが、現場のスタッフは「毎日付けていないと不安だから」と、変わらず毎日付けていらっやるそうです。事故対策で始めた毎日のスコアシート付けが、現場スタッフの意識向上につながったようですね。